

小林市議会「市民との意見交換会」地区別意見交換会【報告書】

開催地区	小林小校区	担当班	議員名	担当
参加人数	21人		大浦 竹光	司会進行
開催日	平成27年7月28日(火)		◎蔵本 茂弘	活動報告(総務文教)
開催時間	午後7時～午後8時30分		海老原 幹朗	(経済産業)
会場	中央公民館		高野 良文	(市民厚生)
その他	3班		穴見 嘉宏	(広報広聴)
			穴見 嘉宏	記録・報告書作成

◎班代表者

意見交換会の内容		※□市民の意見	■議員の意見
統一テーマ	「活力ある地域づくりのために ～雇用・結婚・子育て・定住～」		
【意見交換の概要】			
□空き家バンクは何件登録があるのか。また、移住してきた人たちに対してのサポート体制ができていないから引っ越してきても長く続かない。サポート体制を整え、充実させていかないといけないのではないかと。			
■空き家バンク登録はまだ 10 数件で件数は少ない。移住希望者にお試しとして売子木団地の空き室を提供したり若干の滞在費補助をしたりしているが、ソフト面でのサポート体制の充実の件に関しては、一般質問や委員会審査を通して提案していく。			
□空き家が増えているが、仕事が無ければ定住はできない。耕作放棄地が増えている。農地活用のために若い人の就農のサポートはできないのか。少額の補助金が沢山あるが、まとめて大きなことに補助して雇用が発生するようなことは出来ないのか。市のほうで考えてもらいたい。			
■新規就農（45 歳以下）の方には、年 150 万円ずつ 3 年間補助が出る。農地の貸し借りについては、農地中間管理機構が農地の貸し手に対し協力金を出す制度もある。PR が足りないことを担当課に伝える。			

テーマ② 江南跡地と地域活性化について

【意見交換の概要】

□まちづくりとか活性化というと中心地が問題になるが、上町からは大型店に行こうが中心地に行こうがどっちでもかまわないし近いのは堤の大型店である。なぜ中心市街地に会社を作ったりしてお金をつぎ込むのか、そうしてほしいとは私たちは思っていないし理解できない。

□江南跡地の利用はいいことだと思うが、会社と市が手を組んでやってうまくいった例はあまり無い。シーガイアやコスモス牧場の轍を踏まないよう議員のチェックをお願いしたい。

【調査事項】駅を中心として江南跡地の利用も含め、まちづくりの計画書を内閣府に提出し認定されることによっていろんな補助事業が活用できる。駅の南北通路は完成し、28年度から駅舎の建て替えなど駅周辺整備が始まる。商店街や商工会議所から中心市街地を何とかしてくれという陳情があり、市は小林駅を含め全体のことを網羅する事業として進めている。

□4万人の人が小林を良くしようと思って話し合いをするのが活性化の原点。1年に1回の意見交換会ではコミュニケーションは取れない。これ以外にも例えば常任委員会のときに市民との話し合いの機会を設けたりしていただきたい。市民には情報がなかなか入ってこないこともあって、市民にお客さんから主人公になってもらうのがなかなか難しいが、一番大事なことはないだろうか。市もお金が無くなっていくのだから、これからは皆でまちをつくっていかないといけない。いかに意欲のある市民をつくっていくのか。議論する場をつくってほしい。例えば、200人とか300人の市民が議員と一緒に政策をつくるというようなこともあって良いのでは。議員の皆さんがこの会をどんな展望を持って続けていくのかもっと議論してまちづくりにつなげていってほしい。

■議会が市民の中に飛び込んでまだ2年目で、やり方はもっと変えていく必要があると思っている。関係団体との意見交換会はやっているが市民とはあまりやっていない。議会は何をしているのかとお叱りを受けたり、市議会議員選挙の投票率も50%を切ってしまい責任を感じている。市民のニーズを受け止め、市民と一緒にやった議会活動、政策作りなど進めるにはどういうやり方があるのか、議会内で実現に向け検討していきたい。

□中央公民館の敷地にごみ置き場があるが、景観の問題で次に建て替えるときにはここは駄目という話を聞いたが、このまま市有地を使わせてもらいたい。

■ごみ置き場については基本的には区長さん方が地元住民と設置しその費用に対して市が補助するということになっている。市有地の使用については、市との交渉が必要である。

□上町区、南真方区、南真方東区代表として申し上げる。900世帯から1000世帯、2千数百の人口であるが集会所が無い。国の統計事務所が空き家になっている。市にも議会にもそこを使えないか相談しているが使えないの一点張りである。地域活性のために地域づくりの核となるところを早く作ってほしい。

■平成23年12月議会に陳情が出ている。議会は賛同し使えるようにすべきと採択している。市はそれを受け国と折衝をしたが、アスベストが除去されずにそのままになっているため、国に除去するよう申し入れたが駄目であった。日の出団地を建て替えるが、その近くの建物を集会所として使えるようにしたいという市の計画があるようだ。

□自治公民館が107あるが維持管理が非常に大変である。今度、シロアリのこともあって改修をしたら120万円かかった。今、3分の1の補助だが補助率を上げてもらいたい。

【調査事項】総務文教委員会において、当局に対し補助率の再検討を要請した。

□政務活動費の有効活用をしてもらいたい。返還も良いが市民との勉強会などに使ってもらいたい。市民をどう立ち上がらせるかを眼目においてほしい。

□ふるさと納税で小林市民がよそに寄附すれば小林市の税収が減るということはあるのか。また、よそにどのくらい寄附されているのか。

■小林市民がよそに寄付をすれば、小林市の税収は減るが、額ははるかに少ない。ふるさと納税のメリットは寄附者に特産物を返礼品として送るところにもある。地域産業の振興につながるし、その後生産者や業者に注文が来るということもある。能登町や航空会社とタイアップして、すでに寄付金額は昨年度を上回っているがもっと増えるようにPRに力をいれている。

□まちづくり会社への市の出資金はいくらか。土地は取得されたのか。

【調査事項】出資金は200万円である。土地は、市が取得した。跡地には、まちづくり会社がビルを建て1階は食料品店、2階は公共施設を、3階には商工会議所をといたような計画があるようだが、まだ構想段階ということのようだ。

□コスモス牧場閉園ありきの予算措置はおかしい。ここを生かす何か良いアイデアは無いものか。壊すのも沢山のお金がかかると聞いている。上の方には、キャンプ場もありうまくやっていけば市の活性化の一助にもなると思うが。

■閉園ということはすでに決定している。水源地は土地所有者の敷地内にあったが近隣の方々への水確保のため利用して良いということで交渉がなったようである。閉園に向けて、副市長をリーダーとする5つの班のプロジェクトチームで来年3月には閉園整理を完了したいということで動いている。施設解体等の費用は約1億円と見込まれている。

□特定不妊治療費の助成はいいことだ。ただ、小児科医を何とか見つけてほしい。孫が痙攣を起こしたとき診てくれる小児科医を探すのに大変だった。この様な状況では、小林では子どもを育てるのは無理じゃないかと思った。24時間対応できる体制に早くしていただきたい。

■小児科医や産婦人科医の確保はなかなか難しい状況にある。市立病院では現在は小児科の非常勤医師が毎週金曜日と日曜・祝日は月2回診療しているが、まだまだ不十分である。

□ジェネリックのカードはどこにあるのか。また、保険証などを市民に発送するとき一緒に送れないのか。

■市役所や薬局などいろんなところにおいてある。薬を処方されるときこのカードを見せて「ジェネリックで」と言ってほしい。市民の皆さんに配布する方法については当局に提案していきたい。